



議会だより かどがわ



門川中学校 体育大会

もくじ

平成20年度決算	2P
常任委員会報告	4P
一般質問	7P
条例等	11P

平成21年11月
NO. 120

平成20年度にこのような事業(新規・継続)を行いました。

電光掲示板設置事業



287万円

議会の活性化、円滑な運営を図るために電光掲示板を設置。

源泉ポンプ取替修繕工事(心の杜)



685万円

源泉の地下521mに設置してある揚湯ポンプを引き上げ、新規ポンプ・ケーブルと取替え、揚湯管の洗浄、修繕工事*2~3年で点検等が必要。

平城保育所合併浄化槽設置工事



976万円

昭和50年に設立された平城保育所の単独浄化槽が老朽化したため、50人層の合併浄化槽を設置した。

父子家庭医療費助成事業



622万円

母子家庭医療費の助成は行ってきたが、平成20年4月より、父子家庭にも医療費の助成を開始した。ただし、所得制限等がある。

広域水産物供給基盤整備事業



400万円
(町負担分)

水産物の集出荷機能の強化や漁船の安全性を確保し、水産物の安定供給に資することを目的とする、総額4千万円の国の事業。平成20年度は庵川漁協に防風棚を設置。

生活排水対策基本計画策定事業



239万円

河川海域の汚濁防止・水質改善のため、各家庭・事業所への合併浄化槽設置を推進するため、12年計画を策定。

海面漁業放流事業



95万円

資源の増大と漁家経営の安定を図るため「つくり育てる」漁業の推進をはかるため、イセエビ・あわび・カサゴ等の稚魚を放流。

カンムリウミスズメ保護事業



7万円

カンムリウミスズメの保護啓発のため3月中旬から下旬にかけて、参加者公募で観察会を実施。遊覧船からの観察を行う。

※予算・決算額は、千円以下を省略しています。

平成20年度決算

一般会計、特別会計および水道会計のすべての認定案件を可決

9月定例議会
9月8日~29日



平成21年第3回定例会は9月8日から9月29日まで22日間開かれました。
今議会においては、諸報告5件、条例廃止1件、改正1件、制定1件、財産取得1件、補正5件、認定8件、意見書1件が審議され、原案通り可決されました。
また、一般質問では9月9日、10日の2日間、8名の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

平成20年度会計別決算状況

会計別		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
一般会計		67億7,257万円	65億3,149万円	2億4,108万円
特別会計	国民健康保険事業	24億2,025万円	24億623万円	1,401万円
	老人保健	2億7,925万円	2億2,734万円	5,190万円
	後期高齢者医療	3億414万円	3億215万円	199万円
	介護保険事業	13億4,158万円	12億8,748万円	5,410万円
	草川土地区画整理事業	4,680万円	4,680万円	0 (平成21年度より一般会計へ)
簡易水道事業		1,314万円	1,030万円	283万円
合計		111億7,775万円	108億1,183万円	3億6,592万円
水道事業会計		2億7,813万円	2億8,514万円	-701万円

平成21年度一般会計補正予算 総額1億8,354万円

歳入(主なもの)		歳出(主なもの)
国庫支出金	9,229万円 (経済危機対策臨時交付金4,196万円が含まれている)	防犯灯等地区安全対策事業 600万円
県支出金	603万円	河川改良事業 1,950万円
繰越金	2,798万円	子育て応援特別手当支給事業 1,992万円
繰越金	5,196万円	健康増進事業 329万円
		緊急雇用創出事業 434万円
		東九州自動車道建設促進対策事業 1,423万円
		都市下水路事業 2,900万円
		武道館管理費 120万円
		予備費 4,008万円

特別会計の補正予算

国民健康保険事業..... 270万円
老人保健特別会計..... 4,603万円
後期高齢者医療事業..... 222万円
介護保険事業..... 5,060万円

総務財政常任委員会

総務財政常任委員会に付託された平成20年度一般会計の歳入・歳出決算認定について、全員賛成で認定しました。

議会事務局

○議会活動について

定例議会を4回、臨時議会を2回、延べ57日間の日程で審議した案件は109件。これらに関連して開催された各常任委員会はそれぞれ9回、議会運営委員会を10回、議会広報特別委員会を19回。
議会の円滑な運営のために議場に電光掲示板を設置した。

総務企画課

○歳入の主なものは移動通信用鉄塔設置整備県補助金7,515万

円、福祉健康交流研修施設使用料7,348万円、定額給付金国庫補助金396万円等。

○歳出決算のうち主なものとして総務管理費では一般管理費が3億9,174万円、企画費が3,151万円、電算事務費が1億4,585万円、福祉健康交流施設管理費が1億4,634万円等。

○歳入の主なものは移動通信用鉄塔設置整備県補助金7,515万

は。問 公用車のリースは。

答 年度当初に車種等に応じ、町内外から見積もり入札による審査の上でリースした。

問 職員の不祥事に対する損害賠償について。

答 当人と話をしているが、定職に就けず厳しい生活状況である。今は支払いはできないが将来は返済すること。

問 AED除細動器について。

答 現在、門川駅、クリエイティブセンター、心の杜、海浜総合公園、役場の5ヶ所に設置（リース）し、施設関係者には使用方法を説明している。

問 心の杜について。

答 入館料の見直しで入館者は伸びている。本来の目的は運動の後は温泉を利用して健康の維持増進を図ることであるが、収入面との関係で検討が必要である。

問 県外徴収は。

答 綿密な調査等を行い、効率的な徴収業務に努めた。

問 外国人に対する課税は。

答 町内に27人の課税対象者がいて、7事業所から特別徴収している。

財政課

○財政運用に当たって、歳入面では積極的に財源の確保に努める一方、歳出面で行財政改革に努める等常に健全財政運営を心がけた。その結果、平成20年度の財政指標は、公債費比率で昨年度より1.8ポイント減少し、経常収支比率が1.7ポイント減少。起債制限比率、実質公債比率ともに減少・改善する

税務課

○大変厳しい状況の中、滞納繰越分について2,742件の調査を行い、債権103件、物件161件の差し押さえを行った。

など財政健全化が図られている。

○町債残高については町民一人当たりの借入金残高は県下でも最も低く好ましい状況。

問 地球館の土地無料貸付について。

答 弁護士とも相談しているが、契約条項から有料にはできないとのことである。

会計課

○一般会計、各特別会計、水道事業会計とも歳計現金管理業務を適正に執行している。

文教厚生常任委員会

一般会計決算は、賛成多数で可決、国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の4つの特別会計は、全員賛成で認定しました。

国民健康保険事業

は、単年度収支1億183万5,884円の赤字となっています。保険給付費は、年々増加しており、基金残高も極限となり、20年度に保険税を20%引き上げましたが、それでも基金は潤わず、大変厳しい運営が続くものと懸念されます。

主な質疑応答

問 日向病院の医師不足の問題は。

答 医師不足は全国的な問題で特に小児科は深刻。日向病院には宮崎大学の小児科から1

人来ていただき、門川

から椎葉まで全ての乳幼児健診や、延岡の小児夜間急病センターでの週2回の夜間診察もしていただいているという厳しい状況。

問 夜間急病センターでの受診状況は。

答 小児科を359人、内科・外科を170人が受診。小児科の受診者は合計4,302人なので8・3パーセントぐらいが門川町民である。

問 集合税から単税に

変わった後、国保税の徴収率は変わらなと思うか。また、未納状況は。

答 単税になった場合の納入者の増減は不明。未納の理由は、収入や財産がないという場合もあり、税率が上がると益々厳しくなる状況。

問 非常に厳しい国保の運営をどう考えるか。

答 保険給付費が年々増加している。医療費を抑えるため、※ジェネリック医薬品や検診の受診を推奨して、医

療費の抑制に努めるとともに、国保税の未納については、厳しい徴収をするほかない。

問 委託料の高齢者地域支援体制（相談設置）はどういう形の相談か。

答 社協の専任職員が、高齢者を中心に人権問題や子育て、金銭トラブル等幅広い相談を受けていて、年間の相談件数は69件だった。

問 高齢者の住宅改造事業は、2件というの

は少ないが。答 包括支援センターを中心に広報誌やホームページで知らせているが、所得税額14万円以下という基準に合わなかったり、工事まで2ヶ月ぐらいかかるなどの理由で辞退した方も多。手すり取付などは、介護事業で対応したものもある。

問 保育料の滞納が多いが。

答 最近、未納の理由に多重債務の問題を抱えている場合もある。



そういう方には、児童手当で支払うよう指導しており、年度中に終わらなくても、卒園しても追いつくようにはしていきたい。

※ジェネリック医薬品

新薬の特許権が切れた後に、同じように作られた薬のこと。効果は同じで、薬代は安い。ただし、同じ有効成分でも添加剤が違ったりと、他の薬や食べ物との飲み合わせが変わっていることがあるので医師、薬剤師と相談が必要。

問 門川町はスポーツが盛んだが補助金は十分か。

答 どれについても十分とは言えず、特に選手派遣については、個人負担が極端に大きくならないよう検討が必要と考えている。

問 町の鳥カンムリウミスズメを今後どのようにアピールしていくのか。

答 年1回、観察会を開催しており、好評をいただいている。今年度は船に乗り切れず、急遽2艘だした。また、絵本も引き続き販売する。

一般質問

8名の議員が登壇！

町長 五十鈴川下流の防災対策、工業団地付近の堤防については、関係企業、住民からの要望が昨年度に上がっている。町としては堤防のかさ上げ等を県に要望している。本年度は県の河川改良事業予算として五十鈴川に例年以上の額が配分されていると聞く。下流域のよ



豪雨時に心配される五十鈴川下流の堤防

問 集中豪雨が世界各地で発生している。五十鈴川下流の、特に右岸の工業団地付近の住民から、堤防が低いのではとの声が上がっていることに対して、町の考えは。



五十鈴川下流防災対策は

米良 昭平
町長…
堤防かさ上げを要望

うな緊急性の高い地域から本格河川改修に向けた整備箇所の検討を県に相談していく。町としても今後引き続き、河川敷の整備など五十鈴川の治水に努力していきたい。



「町政報告会」の継続を

町長：「町政報告会」にこだわらない

黒木 裕

町長 ①開かれた町政を目指すことから情報発信の第一歩という意識から開催。
②町の現状と今後の取り組み、行政力を高めるための方策など8項目について報告した。
③子育て支援や学力向上を含めた健全育成が町民の関心が高いと感じた。
④生活の基本である環境の保全など、安心して生活できる町を住民

問 平成18年に開催した「町政報告会」について聞きたい。
①開催を企画した意図。
②報告内容。
③どのような感触を得たか。
④住民と身近に接した感想。
⑤報告会の成果。
⑥報告会の情報開示。
⑦町の施策への反映。
⑧報告会を継続しなかった理由。

が望んでいると感じ、将来を見据えた施策の推進を思った。
⑤1回だけの報告会開催の成果は得られないが、いろいろな手法で情報を公開し、あるいは町民の意見を聞くことで、風通しはいいぶん良くなったと思う。
⑥町政報告会は情報開示の一つの手段だと考えている。
⑦本町都市下水路の強制排水、分蔵地区の上下水道整備、ハザードマップの整備等を予算化し、事業を実施。その他長期にわたる事業は年次的に対応している。
⑧商店街の催し、農林漁業・商工等の各団体、保育園や学校訪問、福祉団体や体育・スポーツ関係団体、地区会長会などなど折に触れて出向いて報告に努めており、特に町政報告会にこだわらない。

産業建設常任委員会

門川町一般会計・門川町草川土地画整理事業特別会計・門川町水道事業特別会計・門川町水道事業決算について、全員賛成で認定しました。

農業委員会 産業振興課

●農業関係 農業委員会では、耕作放棄地の現地調査が行われた。
学校給食「ひむか地産地消の日」事業や新地域水田農業担い手条件整備事業など18の補助事業。また、分蔵地区営農飲雑用水施設整備工事が行われている。五十鈴川農産加工センターへの囑託員の配置、西門川活性化センターの管理委託料等である。
●林業費 小切畑内の輪線他の舗装工事と愛宕山地区治山工事が実施され、フォレストエナジー門川に地域バ

イオマス活用補助金が交付されている。

●水産振興費

資源増殖と漁家の経営安定を図るため五十鈴川稚魚放流事業、海面漁業放流事業の実施、レストラン「うみすずめ」の看板設置、庵川漁協の防風柵の整備、トイレの新設等が行われている。

●商工費

門川産業振興券の発行と事務委託等を行っている。

環境建設課

●土木費 大原・仁久志線道路改良工事で米田団地の排水路整備、丸バエ川の樋門改修、

本町都市下水路ポンプ場の設計業務委託等を行った。

●住宅費

平城団地9号棟住戸改善工事、平城団地24号棟・28号棟の屋上断熱化防水工事等が行われている。

●災害復旧費

千田ノ木・平城線の町道災害復旧工事等である。

●門川町草川土地画整理事業

主なものは、須賀崎地区道路維持工事として側溝の整備と、清算業務として3,225万円が一般会計に繰り出され、21年度には門川町草川土地画整理事業特別会計は廃止され、一般会計となる。

●門川町簡易水道事業特別会計

給水件数は123件で、給水計画区域内のほとんどに給水している。年間給水量は3万9,543m³で、昨年度より1,407m³の増加となっている。

センターの利用状況は。
【答】年間191件で利用者は1,273名。

●海面漁業放流事業の効果は。

【答】毎年漁獲量が保たれていることから十分に効果は得られている。

●西門川活性化センターの管理委託料の積算基礎は。

【答】時給650円で実働5時間の212日分で算出している。

●水道料金未納対策は。

【答】未納者には、毎月未納のお知らせを出し、催告・給水停止のお知らせを3ヶ月に1度発送している。結果として、窓口の一部入金など効果が上がっている。実際の給水停止まで至ったことはない。



五十鈴農産加工センター現地調査の様子

委員会について

審査の後に、平城9号棟住戸改善事業、庵川漁港防風柵など6箇所現地調査を行った。高速道の現地調査も行い、中山口から大迫のインターチェンジまで視察した。インターは平成22年度までにはできるとの説明を受けた。

予算執行については、今後も一般会計をはじめ各特別会計において、まずは住民福祉の向上を最優先に適正な予算執行を行うよう要望しました。

子育て人づくりセンター設置は



安田 厚生

町長…政策の柱として位置づけ整備を行う

問

保育園改築事業の否決の結果を受け、「門川町子育て支援本部」はこれからの子育て支援をどのように考えているのか。また、安心して子育てができ、子育てに関する相談できる場所「子育て人づくりセンター」の設置についてどのように考えているのか。

町長

老朽化した南町保育園の改築、耐震診断の状況、さくらんぼ保育園の認可保育園の取り組みなどあらゆる事項を検討している。また、子育て拠点となる施設「子育て人づくりセンター」は、次世代を

担う子供たちが健康に成長できるように政策の柱として位置づけていきたい。

問

保護者からの要望も多かった病気の児童及び病後児保育を各保育園等に支援していく考えは。

町長

町内初の病後児保育の機能を有した南町保育園を改築することとを前提として議論していた。園舎の改築が議会で否決され、子育て支援本部は予想しておらず、深く落胆し、動揺している。各保育園に病後児保育の整備は多くの課題があるが前向きに検討。

国による補正予算凍結の影響は

問

政権交代が現実のものとなり、麻生政権が実施した約4兆4千億円の46の基金事業を中心に補正予算を全面的に見直す方針を示し、「税金の無駄遣いを徹底的になくす」と公共事業費削減にも意欲的である。補正予算等の凍結による町政への影響は。

町長

町政への影響は出てくると考えている。今後は国・県の動向を注意深く見ながら財政運営に努めたい。

活力ある町づくりについて



安藤 福松

町長：必要な公共事業を計画的に実施

問

少子高齢化が進む中、景気が回復せず、町の財政事情も厳しい状況であるが、町民が誇りをもてる活力のある持続的発展する町づくり（町の将来像）について、また、子育て支援、教育文化スポーツや農林水産業等の振興、道路排水路等の生活環境整備など、各般にわたる公共投資の拡大について伺いたい。

町長

持続的発展する町づくりを考える時、町の将来像を考え、描きながら取り組むことが大事である。平成の大合併がひと段落した今日、合併した町村の検証では必ずしも合併推進の目的が達成できたとは言えない状況であり、当面は自力を蓄えつつ、道州制の導入など国の動向を見極めながら、商工関係者などで議論している二市一

町の将来のあるべき姿を描きながら、行政力の向上、安心安全な町づくり、地域の活性化、生活環境対策、子育て教育の充実、産業振興等の諸施策に取り組み、「夢・人・町づくり」を推進していく。

次に今後の公共投資については、特に子育て支援と学校教育の充実を重点におきたいと思う。安心して子育てができ、学校教育も充実している町こそ、必ずや将来、企業誘致、地域医療など、地域の発展に結びつくものと信じている。

さらに安全対策は欠かせないので、道路等についても、国・県の補助金等を有効活用しながら、必要な公共事業を計画的に実施したいと考えている。

神崎 千香子

横領金1千万円は、けじめをつけよ



町長…本人から、支払ってもらおう

町営住宅建設

入っている。返済計画は、立てていない。

問

任期中に、解決の見通しは、ないという事か。

町長

本人に対して、可能な限り、返済の要求をしていく。

問

不在者投票、横領1千万円も町民にツケを負わせたまま、未だ職員の仕事もきちんと検証してない。これは、行政能力以前の問題だ。

町長

職員には、日頃の意欲と、知識・技能研修などを進めたい。司直で、金額など、全容解明はしている。

町内小河川の環境保全は

内山田 善信

町長：県への要望を継続していく



問

丸バエ川の濁りと悪臭の原因究明とその対策はどうするのか。

町長

原因は調査中で、現段階では不明。事業所からの排水は適正な排水処理の指導・確認をしている。

問

中村防災ダムとその下流域にブラックバスが繁殖している、その他の河川の調査と対処をすべきではないか。

町長

中村地区でブラックバスの確認は出来たが五十鈴川での繁殖は確認されていない。今後確認されれば五十鈴川漁業協同組合と相談の上検討していく。

問

県の管理河川も含

め、繁茂した葦の除草については地域の力だけでは限界がある。町行政が積極的に手を貸すべきではないか。

町長

県の管理河川の中村地区の鳴子川上流部加草地区丸バエ川、町管理河川の竹名川、丸バエ川上流部、新川上流部の掘削を実施しているが、土捨て場の確保に苦慮している。また、県には引き続き土砂掘削を要望していく。

南ヶ丘への道路の新設は

問

門川町南ヶ丘と日向市梶木を繋ぐ道路新設を首長同士のトップ交渉をしてはどうか。

町長

この道路が必要な道路であることは十分認識しているが、日向市民の同意を得るのが難しい。来年は日向市道の整備計画見直しの時期なので、再度要望する。



審議会の様子

○町税の徴収等に関する条例を廃止する条例（全員賛成）
昭和37年1月から47年間にわたって取り入れた集合税方式の納付方法を廃止、単税方式に変えるものです。

集合税から単税へ 納税方式が 変わる！

集合税方式から単税方式に変わるまでの経緯

平成20年6月に庁内組織で構成するワーキンググループを設置し、集合税方式と単税方式の比較を調査研究し、今後の納税方式として、単税方式がベターである旨の提言書を提出。その後、町内の各界各層の代表からなる門川町税制度改革審議会を立ち上げ単税化の可否について検討をいただき、平成21年8月17日に町税の徴収等に関する条例を廃止することが望ましいとの答申書が提出された。



国の少子化対策の一環として、出産に係る経費の負担を軽減するため、平成21年10月から平成23年3月31日までに国民健康保険被保険者が出産した場合、出産育児一時金の支給額35万円を39万円に引き上げ、産科医療補償制度分3万円を合わせて42万円にするものです。

条例改正

○門川町国民健康保険条例の一部を改正する条例（全員賛成）

条例制定

○定住自立圏の形成に係る議会の議決事件を定める条例の制定（全員賛成）

定住自立圏構想の中心市である延岡市、日向市と本町のあいだで、人口定住のために必要な生活機能の確保に向け、議会の議決が必要なものとする条例を定めるものです。

財産取得

草川小学校と五十鈴小学校の給食調理場に真空冷却機を設置するものです。

意見書

○厳しさを増す森林・林業・木材産業の活性化を求める意見書（全員賛成）



門川町の新型インフルエンザ対策は

小林 芳彦

町長：9月中に行動計画を作成予定

問

8月に入り、新型インフルエンザが全国的に流行し始めているが、門川町の状況と対策は。
①町内の現在の感染状況は。
②門川町の今後の対策は。

児童公園のトイレ整備について

問

門川町には、憩いの場として数多くの児童公園があるが、その一方でトイレの水洗化整備がいまだに進んでいないが町長の考えは。

町長

①患者の把握は県が行っている。最新の報告によると日向保険所管内で1医療機関あたり1週間に0・5人となっている。
②5月1日に新型インフルエンザ対策本部を立ち上げ、その決定の下に行動計画を現在作成中で、9月中に完成予定である。

町長

公園トイレの水洗化については、公園利用者が多い所や地区の要望を聞きながら、出来る所から年次的に実施する。

スポーツ振興について

問

門川町は、スポーツ

町長

①現在、町、体育協会で定める2つの要綱で補助を行っている。補助については、関係団体等とも十分協議を行い、検討する。
②長期総合計画や教育振興基本計画等との緊急性や必要性などを考慮しながら検討する。

終戦直後の爆弾処理の犠牲者について

水永 正継

町長：後世に語り継ぎ、平和教育等に生かしたい

問

終戦直後の1946年3月、旧日本軍の爆弾を日向市沖に投棄する作業中、門川町の若者9名と警察官1名が死亡、7名が負傷という大惨事が発生している。戦争が終わって復員したばかりの若者たちであったが、これからの平和な社会で羽ばたこうとする前途ある未来を絶たれてしまっている。

戦後64年が過ぎ、門川町の人々の上に起こったこの悲劇を知る人が少なくなってきた。戦争による悲劇を再び繰り返すことがないようにこの事故を忘れず、戦争の戒めにしたいたいの声が寄せられているが、この事故を後世に残すために町としてできることはな

町長

戦争で生き残り復員できた若者、ましてはそのご家族にとつては痛恨極まりない事故で

五十鈴川河川敷の樹木等について

問

五十鈴川小園付近の河川敷に個人の所有地があり、樹木等が植えられているが、台風等の増水時に川の流れが悪くなり、水害の恐れが大きくなるのではないかと不安が住民から寄せられている。町としてどのような対策を考えているのか。

町長

樹木等は河川区域指定前の植林であり、伐採を強制できない。樹木の伐採を視野に入れた本格河川改修を県に要望しているが、本年度五十鈴川の予算配分は多いと聞いている。緊急性の高い所から整備を要望していきたい。

議会のうごき

7月8日(水)	東九州自動車道・九州横断自動車道延岡線建設促進総決起大会
17日(金)	九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会協議会総会並びに決起大会
18日(土)	東九州小学生ソフトボール開会式
21日(火)	第14回「海の日」記念式典
23日(木)	東臼杵郡町村議会議員研修会
24日(金)	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会
31日(金)	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会 五十鈴川流域森と水を守る協議会総会
8月3日(月)	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会の合同要望
4日(火)	正副議長研修会・地方行政問題協議会
18日(火)	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会の合同要望
19日(水)	宮崎県北部地域町村議会議長連絡協議会総会の要望活動
23日(日)	東臼杵郡民体育大会
9月8日(火)	本会議（開会日）
9日(水)	一般質問
10日(木)	一般質問
15日(火)	本会議
28日(月)	常任委員会
29日(火)	本会議（閉会日）

質疑応答
合併浄化槽等補助金 1,548万円
問 昨年策定した排水計画に沿った事業か。
環境建設課長 門川町排水計画は、昨年3月に完成して、それに基づいて整備計画を続けている。年間136基ずつ増設し、平成32年度完結予定だったのが、10%増加を図り、年間150基ずつ増設し、平成31年度に完結予定という事に

質疑応答
交通安全対策費 3,300万円
問 交通安全対策費は年に400万円で行っている。この予算で足りないのか。
環境建設課長 現行予算の400万円は、350万円の、五十鈴小学校の所のガードレールの設置とゴルフ場の上のり口（庵川西通り線）の危険個所に設置する

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

事業名	事業費(千円)
保育所AED設置事業	941
新型インフルエンザ対策事業	1,148
合併処理浄化槽補助及び単独処理浄化槽撤去費一部補助事業	15,480
農業用排水路改修事業	4,000
交通安全対策事業	33,000
防災無線整備事業	1,100
消防指令車整備事業	4,500
学校ICT(情報通信技術)環境整備事業・地デジ対応アンテナ工事	3,648
学校ICT(情報通信技術)環境整備事業・地デジ対応テレビ購入事業	16,779
門川小学校体育館シロアリ対策事業	2,045
理科教育備品整備事業	6,757
海浜総合公園屋外便所等設置工事	4,000
小・中学校図書館整備事業	5,740
合計	99,138

7月28日
南町保育園補助 スクールバス購入費を除く13事業
可決
7月28日の臨時議会では7月13日に否決した予算の中で南町保育園建て替え費用及びスクールバス購入費用を除いた13事業が提案され13事業、9913万8千円を全員賛成で可決しました。

町長 平成16年から、次世代育成支援行動計画に沿って、古いものは、段階的に補修定。残り50万円については、交通量の多い交差点あたりのラインと南町の道路の一部のラインを予定している。
問 町道は、町内一円163キロあるため、50万円では1年で終わらない。限られた予算で年次的に順次やっていくしかない。

海浜公園トイレ設置 工事費400万円
問 身障者用のトイレがないのは何故か。
社会教育課長 身障者トイレは、野球場と多目的広場横にあるので、それを利用していただきたい。

問 人にやさしい町づくりを考えた時、段差のない身障者用のトイレは、高齢者の方にも使いやすいと思うが。
社会教育課長 なるだけ、段差をつけない形の設計をお願いして人にやさしいトイレをつくりたい。

地デジ対応テレビ 購入費364万円
問 購入予定75台は、町内1つの店舗から購入するのか。
教育総務課長 購入先は入札で決定するが、入札に参加するには町への申請が必要。現在の登録業者に加え、町内の未登録の各業者にも申請を呼びかけてから入札したい。何店舗から購入するかは未定。

7月13日
南町保育園補助など1億9,671万6千円 8対5の反対多数で
否決
7月13日の臨時議会は、南町保育園建て替え費用補助金9,064万8千円、スクールバス購入事業693万円など、1億9,671万6千円が提案され、8対5の賛成少数で否決しました。
また、議案審議の前に審議のための特別委員会設置の動議が提案されましたが、賛成少数で否決になりました。

質疑応答
南町保育園補助金 9,064万8千円
問 いずれ保育園ができる時点で、南町保育園は、廃園にするということがあるが、真偽は。
町長 私は、その頃の話は一切聞いてない。め、わからないという事がある。15年の時点で議論があるはず。

町長 南町より古い保育園もあるが、補修で済ませているという話を聞く。そういう中で、改築するというのは、どういう検討をしたのか。
町長 平成16年から、次世代育成支援行動計画に沿って、古いものは、段階的に補修

西門川スクールバス購入693万円
問 延岡に通う谷ノ山の子どもたちについて。
町長 児童クラブ等、町主体での交付金事業への申請は、この数年していない。南町保育園については、昨年の6月に、計画が上がつてきたため、国・県に申請した。

町長 コミュニティバスとして利用できないかと考えた。まずは、買うという事を優先して、しっかりとした事業を組み立ててやっていきたい。
教育長 谷ノ山から4名が延岡の小中学校に通っており、少子化が進む中、なんとかしていかねればと考えている。西門川小中学校は存続の要望が強い。現在、通学している19名の子どもの便宜を考え、西門川の子どもの音楽大会の時等、各種行事等活用できる。

反対討論
●児童クラブとか総合的な計画・審議をしてないようだ。公立保育園は、老朽化の調査もしてない。また公平・公正に雇用につながるよう一人の経営者に公金を流すことのないよう、町民にひらかれた中できちんと審議していくべき。
●五十鈴保育園を作った段階で、南町保育園を廃園にするという話が言われていたようで、町民が心配している。この問題を明確にし、時間をかけて議論すべき。
賛成討論
●南町保育園は、ひどい雨漏り状態と聞く。子どもたちの保育に支障があると考える。
●早めに丈夫な保育園を作り、20年、30年先まで子どもが通えるようにすべき。

討論

一般質問 その後どうなった

問 町道松瀬、川水流線改良は → 現在 22年度路線測量始まる

平成19年6月

問

松瀬～川水流線の道路改良工事はどうなっているか

町長

延岡市北方町側と協議して国の採択に向けて進める



松瀬～川水流線

平成20年6月

問

町道松瀬～川水流線の改良計画は

町長

平成22年度からの着手を目指す

現在

平成21年から測量設計予算計上し、用地測量が22年度から始まり、23年度工事着手予定

問 悪臭対策は → 現在 消臭剤等補助

平成20年9月

問

中村の養鶏場からの悪臭の改善策は

町長

生産者、関係機関と一体で取り組んでいるが、さらに努力していく

現在

平成21年度予算で、臭気緩和剤をエサに混ぜたり、消臭剤を散布するための補助金53万8千円を補助。消臭剤散布が効果があったため、今回の9月議会で、消臭剤装置を10基分増設するために、81万9千円補助



鶏舎の消臭剤散布の様子

問 松寿園跡地利用計画は → 現在 町有財産調査

平成19年6月

問

松寿園跡地は、立ち入り禁止になっている。利用計画は、どうなっているか

町長

現時点で決まってない。将来的に有効利用を考え、方向性など真剣に検討していきたい

現在

活用の検討は行っていない

南町保育園建て替え補助
9,064万8千円

8対5の反対多数

8月20日

再否決

8月20日の臨時議会では南町保育園建て替え補助金9,064万8千円が提案され、再び8対5の反対多数で否決になりました。
この補助金の財源は県の安心こども基金から、6,043万2千円、国の地域活性化経済危機対策臨時交付金3,021万6千円を充てています。

質疑応答

問 雨漏りがひどいというが、平成19年度、平成20年度修理しなかったのは何故か。

町長

平成4年に300万円、平成14年に650万円、平成15年にも5982万円、平成18年に582万円ほどかけて、状況に応じて適宜、防水工事をやっている。専門家の調査をいれた所、老朽度が非常にすすんで、早急に建て直す必要はないというように意見であつたことを踏まえて、改築に踏み切られたものと判断している。

問

南町保育園の園長の、「町の持ち出しはない。」との発言が新聞に掲載されたが、この話をどう考えたのか。

町長

新聞記事内容なので、コメントするところではない。

問 とではない。予算は町の負担分として充てているのは活性化交付金である。これは、もちろん町に入ってくるので町のお金として持ち出すもの。

町長

個人で児童クラブを行っていると、町は手だてをすべきでは。

町長

無認可保育園については、補助の要望が上がってきていないため、検討していない。

問

次年度以降、保育園の整備計画に大きく影響すると提案理由にあるが、本当か。

町長

次年度以降、こういう申請も事業がたくさん控えているので、県から何でだろうかと考えられないように子育て支援を優先して、取り組んでいくんだと思われなくはないと思う。

問

平成14年度、(五十鈴保育園の)条例廃止の時、議会で、「南町保育園が、今後いすず保育園として新しい民営化されるんではないか」と答弁している。やはり廃園の話があつたのでは。

福祉課長

「町立の五十鈴保育園が、民営化されて今後いすず保育園となる」という内容をお伝えする際に、「南町保育園が」と言い間違つたと思う。前後の文脈を考えても、廃園を意味する発言ではない。

反対討論

1 法人1保育園。民間委託の主旨からしても、保護者の方が多様な保育園を選ぶ権利を担保することが大切。雨漏りは、早急に修理するように指導すべき。これからの分権社会は、町づくりに参加してくれる人を育てる

賛成討論

南町保育園は、老朽化が進み雨漏りがひどく、漏電による火災も心配。耐震構造ではなく極めて危険性の高い保育園である。また改築後は、病後時保育の整備が図られ、重要なニーズを満たすことができる。これからの子育て支

援整備にも、重大な支障が出てくると思われる。次年度以降の計画にも大きく影響する。また署名された4,934人の思いを強くうけとめ、保育園に通う70名の安心・安全をいちはんに考えて賛成します。

ことも大切。個人の児童クラブなども優先すべき。工期が迫っているのは、保育園の事情であり、議会は、町民の声を聞き、バランスある税の配分そして、将来に向けて時間をかけてでも審議すべきとして反対します。



ほうきょういんどう
宝篋印塔(中村)



千灯籠語り部の里づくり



さくらんぼ保育園運動会



尾末神社大祭 今年は11月15日(日)に開催



門川神社大祭 11月23日(月)に開催



議会広報編集特別委員

小林 芳彦
水永 正継
神崎千香子
千草 力生

● 編集 ● 後記 ●

秋冷快適の候となりました。
政権交代の国政に負けじ劣
らずの町議会!? 7月、8月
の臨時議会に続き9月議会。
丁々発止の議論をこれだけ、
臨場感を持って、わかりやす
くお伝えできるか。今回は新
企画も試みました。

皆さまご指導ご感想、ご意
見お待ちしております。インフ
ルエンザに気をつけながら、
スポーツ、読書、味覚の秋を
お過ごし下さい。